

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 工房ポルトス		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の皆さまから安心して任せいただける支援を行っていること。	さまざまな専門的知識や経験を持つ職員が在籍しており、職員同士で意見を出し合いながら日々のプログラムを考えています。そのため、多様な視点を取り入れた支援を行うことができています。 また、プログラムは実施して終わりではなく、その後に職員で振り返りを行い、うまくいった点や改善できる点を共有しています。こうした取り組みを重ねることで、お子さま一人ひとりにより合った、個性の高い支援につなげています。	今後は、職員一人ひとりが新しい支援方法や教材などの情報にアンテナを張りながら、子ども達がさまざまな道具や活動を経験できる環境をさらに整えていきたいと考えています。多様な体験を通して興味や関心を広げ、一人ひとりの成長につながる支援を、これからも大切にしていきたいです。
2	活動の様子を通信で分かりやすくお伝えしていること。	今年度より「ポルトス通信」を発行し、事業所での活動内容やお知らせについて情報発信を行っています。通信では活動の様子を写真とともに紹介しており、子どもたちがどのような環境でどのような活動をしているのかを、保護者の皆さまにより具体的に知っていただけるよう工夫しています。実際に「活動の様子がよく分かる」といったお声をいただくなど、保護者の皆さまからも好評をいただいています。	今年度は年4回の発行でしたが、今後はより多くの活動の様子をお伝えできるよう、発行回数を増やすことなども含めて検討していきたいと考えています。引き続き、保護者の皆さまに事業所での取り組みを分かりやすくお伝えできるよう努めていきます。
3	子どもたちがのびのび過ごせる広い活動環境があること。	ポルトスには、3階建ての本館、2階建ての新館、そして外遊びができる庭があり、広い敷地の中で子どもたちがのびのびと過ごすことができます。 この環境を活かし、10人程度の小集団で行うプログラムだけでなく、1対1でじっくり関わる個別プログラムも実施しています。活動内容や子どもたちの状況に合わせて場所や環境を使い分けることで、それぞれに合った支援ができるよう心がけています。	今後は、この広い環境をより効果的に活かせるよう、活動内容やプログラムの工夫をさらに進めていきたいと考えています。また、子どもたちが安心してさまざまな活動に挑戦できるよう、環境整備や活動の幅を広げる取り組みも進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流できる場づくり	当事業所では、これまで保護者同士が交流できる機会としてイベント等を実施してきましたが、コロナ禍の影響により開催が難しくなり、その後は十分に実施できていない状況が続いています。現在は作品展などが交流の機会の一つとなっていますが、開催が年に1回のため、保護者同士がゆっくり交流できる機会としては限られている状況です。なお、当事業所では「父母の会」といった特別な枠組みは設けず、事業所として保護者の皆さまと関わる機会を大切にしていこう方針としています。	今後は、保護者の皆さまからのご意見も伺いながら、事業所として交流の機会となるイベントの実施を検討していきたいと考えています。保護者同士が気軽に情報交換や交流ができる場づくりを進めていきます。
2	地域の子どもたちとの交流機会の充実	当事業所では、子どもたち一人ひとりに合わせた支援を丁寧に行うため、事業所内で実施するプログラムを中心に活動を行っています。そのため、児童クラブや児童館などで地域の子どもたちと交流する機会を、定期的な活動として設けることは現在のところ行っていません。	今後も基本的には事業所内でのプログラムを大切にしながら、自治会主催のイベントや地域の催しなど、地域交流の機会には特別プログラムとして参加していきたいと考えています。子どもたちにとって無理のない形で地域との関わりを持つことができるよう、今後も機会を見ながら取り組んでいきます。
3	ご家族向けの研修や情報提供の機会の充実	これまで職員は日々のプログラムの準備や支援の振り返り、職員会議、研修などに多くの時間を費やしており、ご家族向けの研修や情報提供の機会を十分に設けることができていませんでした。	これまで実施してこなかった取り組みのため、手探りでのスタートにはなりますが、来年度はご家族の皆さまにも役立つ研修や情報提供の機会を設けられるよう準備を進めていきたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 特定非営利活動法人 工房ポルトス

公表日 2026年3月31日

利用児童数

42名

回収数

37名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35			2	室内や庭で体を動かしているのが確保されていると思います。	3階建ての建屋と2階建ての建屋で広いスペースを使って暮らしております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36			1	細かいところまで見ていただけていると感じています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3	1	1	複雑な造りもあるがそこが個性的。視覚的に子供が楽しんで理解しやすい配置になっていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1			見学を受け入れるなど、常に開放的だと思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	6	4	25		当事業所としては定期的な活動として設けることは現在のところ行っていません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	4	1	9		来年度はご家族も参加できる研修会についても検討させていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	36	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37				学校等より面談の時間を設けて頂いて様子を聞けたり相談させて頂けます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1			学区外ですが、子どもと私の為に学校までお越しいただき（話し合い）ありがとうございました。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	10	6	12		家族で参加できるイベントについても来年度以降計画しております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	2		2	通所している子どもの兄弟（姉）に対してもご相談に乗ってくださいありがとうございます。親身にご対応いただき感謝しております。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	2		1	紙での資料をよく配布されています。	今年度より「ポルトス通信」を発行させていただきます。よろしくお願いいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	3		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	4		1	これまで事故等はありません。事故など発生したことない為分かりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				信頼感は絶大です。カレンダーを見て「どようび」「ポルトス」と言って楽しみにしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	2			行き渋りは本人の気持ちの問題。体調が悪そうなきも休みたくない！という感じなので、楽しく行ける。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	37				私も安心してお任せできます！親子共にポルトス大好きです！！こちらにしてよかったと夫婦共に思っています！日常で経験ができないことも体験でき、とても良いと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		特定非営利活動法人 工房ポルトス				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9		現段階では、外部の施設や地域の他のお子さまとの交流機会については、特別に設定する予定はございません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		9		保護者同士で交流できるようなイベントを、今後設定してしていく予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1		対象児童がない為、必要な際は保護者様と適切な支援に向け相談させていただき、進めていきたいと考えています。	